

武雄市図書館・歴史資料館 特別企画展

佐賀の乱と 武雄

会期 平成28年2月13日(土)～3月13日(日)

午前9時～午後9時

※ただし、2月25日(木)午後6時から26日(金)午後1時まででは、
展示替えのため展示室は閉室します。

主催 武雄市図書館・歴史資料館

後援 佐賀新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社・
株式会社ケーブルワン・NHK佐賀放送局・サガテレビ・NBCラジオ佐賀

会場 武雄市図書館・歴史資料館

T843-0022 武雄市武雄町大字武雄5304番地1

観覧料 無料

展示解説 ※2月21日(日)・27日(土)・3月5日(土)・13日(日)
いずれも13時30分から学芸員による展示解説をおこないます。



※デザインは「皇国一新見聞記 佐賀の事件」(武雄市)より加工制作しました。



武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館・歴史資料館 特別企画展

佐賀の乱と武雄



佐賀電信録(武雄市)

明治6(1873)年10月の征韓論政変で江藤新平が明治政府を下野すると、佐賀では、反政府的な行動を見せていた、江藤新平に通じる征韓党と島義勇に通じる憂国党とが結びつき、明治7年2月、ついに士族反乱のさきがけとなる佐賀の乱が勃発しました。江戸時代初頭の佐賀藩成立期以降、武雄が佐賀藩の支配下にあったこと、旧武雄領主鍋島茂昌の生母が佐賀藩の島家の出で、茂昌と島義勇とは従兄弟同士の関係であること、さらに戊辰戦争では茂昌率いる武雄軍団の活躍が大きく評価されたことなどから、茂昌に対する憂国党元帥への強い就任要請と出兵要請へとつながり、武雄では、結局、64名の兵士を佐賀軍加勢のために進発させることになりました。しかし一方で、岩倉使節団の全権副使として米欧回覧から帰国したばかりの武雄出身の山口尚芳は、騷擾鎮撫の使命を帯び、佐賀城に入り、乱の收拾につとめます。また、戦争に加担した武雄が、戦後、赦免された背景にも山口の奔走がありました。

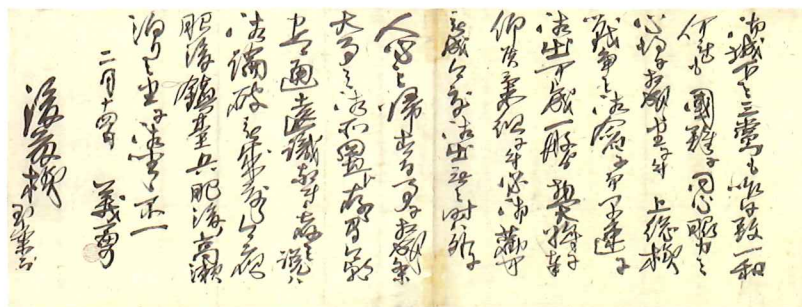
武雄市歴史資料館では、武雄に残る資料を紹介しながら、佐賀の乱に複雑にからむ武雄の歴史をひもときます。



山口尚芳(武雄市)



四斤山砲(尚古集成館)



島義勇書状(武雄市)



近世四戦紀聞(武雄市)



佐賀県逆動紀聞(佐賀県立博物館)

武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304番地1
TEL 0954-28-9105 FAX 0954-28-9205

URL <http://www.epochal.city.takeo.lg.jp>
mail epochal@city.takeo.lg.jp

